

理運鑑定室

ふたりの相性鑑定書

MARRIAGE & RELATIONSHIP REPORT

今回のテーマ

結婚を決める前に、二人が何を具体的に話しておく必要があるか。

気持ちの相性だけでなく、共同生活・役割・お金・決断・一人時間・話し合い方を5年間の流れまで含めて整理します。

沙耶様 × 圭介様

鑑定日 2026年9月24日

WESTERN ASTROLOGY / FOUR PILLARS / SELF-REPORTED MBTI

INTAKE

あなたからいただいたご相談

ご相談文は、お送りいただいた内容をそのまま掲載しています。

プロポーズされた時は本当に嬉しかったです。それなのに、結婚が現実になった途端、相手の欠点ばかり気になるようになりました。

付き合って3年です。彼は誠実で、浮ついたところもなく、仕事も真面目です。私の家族にもきちんと接してくれます。結婚相手として考えれば、安心できる人だと思います。

でも、式や新居の話を始めてから、急に不安が増えました。

彼は決めるのが早く、「これでいいんじゃない？」とどんどん進めます。私は納得してから決めたいので、置いていかれる感じがあります。お金の使い方も、彼は大きなものは計画的ですが、日常の細かい出費には無頓着です。私は逆で、細かいところが気になります。

今までは「違うところ」として流せていたのに、結婚後も毎日続くと思うと急に気になります。

彼からは「結婚したくないなら早く言ってほしい」と言われました。私は結婚したくないわけではありません。でも、「この違和感を無視して進めていいのか」と思っています。

これは結婚前の不安として普通なのか、それとも二人の根本的な違いなのか。生活を始めた時に衝突しやすいところ、逆に二人だから補えるところを知りたいです。

結婚するかどうかを決めてもらいたいわけではありません。決める前に、二人が何を具体的に話しておく必要があるのか、結婚後5年くらいを見据えて教えてほしいです。

【今回、鑑定で知りたいこと】

1. 結婚が具体化した途端に不安が強くなる二人の関係構造を知りたい
2. 共同生活で衝突しやすいテーマと、逆に補い合いやすいテーマを知りたい
3. お金・決断速度・家事・一人時間など、結婚前に確認すべき項目を知りたい
4. 二人が話し合う時に、噛み合いやすい伝え方と避けたい進め方を知りたい
5. 今後5年を見据え、関係を安定させるために何を優先すべきか知りたい

QUESTIONS & PROFILE

今回この鑑定で答えること

1. 結婚が具体化した途端に不安が強くなる二人の関係構造を知りたい
2. 共同生活で衝突しやすいテーマと、逆に補い合いやすいテーマを知りたい
3. お金・決断速度・家事・一人時間など、結婚前に確認すべき項目を知りたい
4. 二人が話し合う時に、噛み合いやすい伝え方と避けたい進め方を知りたい
5. 今後5年を見据え、関係を安定させるために何を優先すべきか知りたい

基本情報

	沙耶 様	圭介 様
--	------	------

生年月日 (個人情報)

出生時刻 (個人情報)

出生地 (個人情報)

職業	人事・採用	地方公務員
MBTI (本人申告)	INFJ-T	ESTJ-A

出生時刻 (個人情報)

は別の本人申告プロファイルとして、日常場面の翻訳補助にのみ使用しています。

RELATIONSHIP PORTRAIT

まず、二人はどんな関係か

ひと言で表すと

「好きだから合う」だけでも、「違うから難しい」だけでもない二人です。

感情と好意の接続は自然なのに、生活を共同運営しようとする、決め方・責任・自由度・細部への感度で差が出やすい。だから、恋人として流せた違いが、婚約後に急に大きく見えやすい関係です。

沙耶さん側に起きやすいこと

納得できる理由と見通しが整ってから動きたい側。曖昧さが残ったまま話が進むと、相手への好意とは別に「このまま決めて大丈夫？」という確認欲求が強くなりやすいです。

圭介さん側に起きやすいこと

決める必要がある場面では、止め続けるより一定の答えを出して前へ進める方が扱いやすい側。長い保留は「結論がない状態」として負担になりやすいです。

この二人の重要な二面性

- 気持ちの根っこには、自然な親和と受け取りやすさがあります。ここは関係の支えです。
- 一方で、曖昧さ・期待・理想像が入り込むと、沙耶さん側の安心感と価値判断が揺れやすい構造があります。
- 二人の「前へ進む力」は強いのですが、同じスピードではありません。片方が推進すると、もう片方には圧として届く場面があります。
- この関係は、感情の問題を感情だけで解こうとするより、生活ルールへ翻訳した方が安定します。

理運の鑑定基準

関係の核と、今回特に重要な算出ポイント

理運の鑑定基準

結婚前の違和感は「気持ちが冷めた証拠」と読むより、これまで曖昧にしても成立していた違いが、共同生活という現実の枠に入ったことで可視化されたものとして読む方が、今回の計算構造には合っています。

算出ポイント	関係での意味
月 × 太陽の調和	感情反応と相手の自己表現が接続しやすい。自然な理解・受容の土台。
金星 × 太陽の調和	好意・価値・親和が相手の存在感と噛み合いやすい。関係を支える強み。
月 × 海王星の強い緊張	安心感に曖昧さ・想像・期待が入りやすい。分からない状態を放置しないことが重要。
金星 × 海王星の強い緊張	理想と現実の差を敏感に感じやすい。結婚像を具体化するほど調整が必要。
火星・太陽 × 木星の緊張	前へ進める力はあるが、勢い・判断の幅・楽観度に差が出ると押し引きになる。
四柱：圭介さん側が沙耶さん側を制する五行方向	責任や決断の局面で、圭介さんの進め方が沙耶さんに圧として届きやすい構造。

上記は、相談文に合わせて結果を作ったものではなく、計算済みの相性データから独立して抽出した関係構造です。

PART 1 / STRENGTHS

自然に噛み合うところ

違いの前に、二人がすでに持っている「関係の土台」を確認します。

1. 好意が関係の中で伝わりやすい

沙耶さんの「大事にしたい」「心地よく関わりたい」という価値の向きと、圭介さんの自己表現には自然な接続があります。言葉にしなくても全部分かる、という意味ではありませんが、相手そのものを肯定しやすい組み合わせです。

2. 感情と相手の存在感が離れにくい

沙耶さんの月と圭介さんの太陽の調和は、感情反応と相手の主体性が協力しやすい配置です。揉めた時に「もう全部嫌」となっても、関係の根元には戻れる余地があります。

3. 二人とも、関係を前へ動かす力がある

木星・火星・太陽の関係には緊張もありますが、停滞だけを作る組み合わせではありません。計画・挑戦・決断の場面では動力になります。大事なのは、推進力を「相手も同じ速度で動けるはず」に変えないことです。

活かすと強い形

圭介さんが「前へ進める」、沙耶さんが「抜けている条件を見つける」。

この役割分担が対立ではなくチェック機能として働くと、二人はかなり現実的なチームになれます。

PART 2 / DIFFERENCES

二人の違いは、どこで問題化しやすいか

決断速度：早い・遅いではなく「決める条件」が違う

圭介さん側

情報が一定量そろえば、まず方向を決めて調整しながら進む方が負担が少ない。保留が長いほど「結局どうするの？」が強くなりやすい。

沙耶さん側

決める前に、抜けや矛盾・後から困る点を確認したい。期限だけを先に置かれると、納得より防御が先に立ちやすい。

理想と現実：悪い意味ではなく、解像度が上がるほど気になる

月・金星と海王星の非常にタイトな緊張は、関係に理想・期待・想像が入りやすい一方、現実の細部が見えた時に「思っていたのと違う」が強くなりやすいことを示します。婚約後に不安が増えたことと整合するテーマですが、これを「結婚しない方がいい」という結論にはしません。むしろ、曖昧な部分を具体化する必要が高い関係です。

圧力の非対称性

四柱推命の二者関係では、圭介さん側の要素が沙耶さん側へ「制する」方向で出ています。さらに、圭介さんは沙耶さんから見て緊張下の決断・外圧・統制に関わる十神文脈が強く出ます。責任場面で「彼が悪い」という話ではなく、同じ提案でも沙耶さんには圧として届きやすい、という非対称性です。

PART 3 / COHABITATION

共同生活で衝突しやすいところ、補えるところ

テーマ	衝突しやすい形	補い合える形
家事・日常運用	「気づいた方がやる」が続くと、基準の違いが不満に変わる。	担当と最低基準を明文化すれば、実行力と点検力が組み合わさる。
予定・決断	圭介さんが結論を先に出し、沙耶さんが後から違和感を回収する。	締切と検討時間を同時に決めれば、前進と納得を両立できる。
生活リズム	日々の細部をどこまで揃えるかで摩擦が出やすい。	同じにする項目と、各自に任せる項目を分ける。
家庭の基盤	家・家族・生活拠点に関する話は、感情以上に強く反応しやすい。	「理想の家庭像」ではなく、具体的な運用条件へ落とすと強い。
自由・一人時間	距離を必要とした時に「冷めた？」と意味づけすると悪循環。	一人時間を関係拒否ではなく、回復時間として制度化する。

重要

二人の相性計算では、日常・習慣・仕事分担を示す領域が双方で強く関係しています。結婚後は「愛情があるか」より「毎日をどう回すか」が、関係満足度を大きく左右しやすい二人です。

PART 4 / MONEY & DECISIONS

お金と決断は、結婚前に「ルール」まで決める

お金：節約観ではなく、許容幅を決める

今回の相談では日常の細かい出費が気になっています。ここは「どちらが正しいか」を決めるより、二人の不安が発生しない境界線を作る方が有効です。相性上も、価値判断と現実運用を曖昧なまま共有すると、不満が蓄積しやすい組み合わせです。

決める項目	具体的に話すこと
共有口座 / 個人口座	給与から共同費へ入れる方式、残りを各自管理するか。
日常支出	相談不要で使える上限額、家計アプリ等でどこまで見える化するか。
大きな買い物	いくら以上は必ず二人で決めるか。検討期間は何日取るか。
貯蓄・旅行・趣味	固定額・優先順位・「使ってよいお金」を先に確保するか。
例外時	冠婚葬祭・家族支援・急な出費をどう扱うか。

決断：二段階方式にする

- 第1段階：方向性だけ決める。「結婚する方向で進めたい」はここ。
- 第2段階：条件を決める。「家計・家事・住居・働き方がこの形なら進める」はここ。
- 圭介さんには「結論がない」と見えにくくなり、沙耶さんには「納得前に押し切られた」と感じにくくなります。

PART 5 / DAILY LIFE

家事・一人時間・家族との距離

家事は「分担率」より「責任者」を決める

「洗濯は半分ずつ」より、「洗濯の責任者は誰で、忙しい時の代替はどうするか」の方が、この二人には合います。細部を気にする人が最終的に全部背負う形、早く終わらせたい人が基準を一方的に決める形のどちらも避けます。

一人時間は、量と意味を分ける

一人で過ごす時間が必要なことと、関係から離れたいことは別です。週何時間・休日のどこを自由時間にするかを先に合意し、「今日は一人になりたい」を関係評価に変換しないルールが有効です。

家族・親族との関わり

家や家族の領域は二人の相性で前景化しやすい部分です。帰省頻度、親への連絡、年末年始、将来の支援、家族行事への参加など、「普通はこうする」を持ち込むより、二人の世帯として新しい基準を決めた方が摩擦を減らせます。

結婚前の確認ワード

「同じにしなければならないこと」と「違ったままでいいこと」を分ける。

この区分ができるほど、二人の違いは欠点ではなく役割差として使いやすくなります。

PART 6 / COMMUNICATION

噛み合いやすい伝え方、避けたい進め方

噛み合いやすい	避けたい
「結婚したくないわけではない。決める前に3点だけ合意したい」	「なんとなく不安」「全部が気になる」だけで話を始める。
結論と未解決事項を分ける。	相手の性格を主語にする。
一度に1テーマ。	その場で最終結論まで出そうとする。
選択肢は2〜3個。	複数の不満を一度に持ち出す。
期限を決める時は、検討時間もセットにする。	返答の速さを愛情の強さに結びつける。

おすすめの会話フォーマット

順番	言い方
1. 共通目的	「二人とも納得して新生活を始めたい」
2. 事実	「今、家計と家事と新居の決め方が未確定」
3. 自分の条件	「私は、ここが決まると安心して進められる」
4. 相手の条件	「あなたは何か決まれば進めやすい？」
5. 次の一歩	「今日は家計だけ決めて、残りは土曜にする」

MBTIの本人申告値も、沙耶さんは意味や納得を重視しやすく、圭介さんは結論・運用・責任へ落とす方が扱いやすいという会話差を理解する補助になります。ただし、相性結論そのものは占術計算を主軸にしています。

PART 7 / REPAIR

すれ違った時の修復方法

この二人が陥りやすい循環

反復しやすい流れ

圭介さんが早く決めようとする → 沙耶さんの確認が増える → 圭介さんには「まだ決まらない」と見える → さらに結論を求める → 沙耶さんは「押されている」と感じる。

問題は、どちらか一方の性格ではなく、この循環です。

切る場所は「速度」です

- 沙耶さん：不安を全部説明し切る前に、「決めるために必要な確認項目」を3つ以内にします。
- 圭介さん：結論を求める前に、「いつまで考えれば十分か」を決めます。
- 二人：感情が強い時は結論を出さず、再開時刻だけ決めます。例「今日は止めて、明日20時に30分だけ話す」。
- 修復時は「誰が正しいか」より、次回同じ状況で使うルールを1つ増やします。

関係の修復余地

月と太陽、金星と太陽の調和があるため、関係の根元に「相手を受け入れやすい」接続があります。摩擦が起きない相性ではありませんが、仕組みを作れば戻りやすい土台がある、と読むのが今回の特徴です。

ACTION PLAN

結婚前に、二人で確認しておく 8 項目

#	テーマ	最低限決めること
1	家計	共有費・個人費・相談が必要な金額・貯蓄方針
2	家事	担当者・最低基準・忙しい時の代替・見えない家事
3	決断	誰が決めるか、二人合意が必要な項目、検討期間
4	一人時間	頻度・長さ・連絡の要否・予定変更の伝え方
5	仕事	残業・異動・転職・繁忙期が家庭運用へ与える影響
6	家族	帰省・親族行事・親への支援・連絡頻度
7	衝突時	中断条件・再開時刻・謝罪より先に確認する事実
8	見直し	月 1 回 15～30 分、生活ルールを更新する時間

優先順位

全部を完璧に決める必要はありません。最優先は、①お金 ②家事 ③決断プロセス ④一人時間。

この 4 つが具体化すると、沙耶さんの「見えない不安」と圭介さんの「結論が出ない負担」の両方を減らしやすくなります。

ここで示す具体策は占術上の関係テーマを現実の行動へ翻訳したものです。実際の金額・役割・頻度は、お二人の収入、勤務、希望に合わせて決めてください。

TIMING / 2026-2027

今から 2027 年：結婚を「現実の形」にする時期

2026 年秋～2027 年冬

沙耶さん側では、愛情・安心・責任を現実的に点検するテーマが強く前面化します。圭介さん側でも自己の枠組みや生活方向の再編が重なります。いま違和感が目立つこと自体は、今回の時期構造とよく噛み合っています。

沙耶さん

- 2026 年 9 月末～2027 年 2 月：土星が金星・月へ強く関わり、価値・愛情・安心を「責任のある形」に問い直しやすい。
- 2026 年秋～2027 年 3 月：海王星が ASC 周辺へ緊張し、自己感覚や「これでいいのか」の曖昧さが前面化しやすい。
- 2027 年 3～4 月：土星と水星の調和。話を整理し、ルールや契約条件へ落とすには使いやすい。

圭介さん

- 2026 年秋～年末：冥王星が ASC 軸へ強く関わり、自分の立場・関係のあり方を再編しやすい。
- 2026 年末～2027 年春：天王星と ASC の調和で、従来のやり方を変える余地が出やすい。
- 2027 年 3～4 月：土星と MC が重なり、責任・社会的役割・将来設計を現実化しやすい。

この時期の使い方

「不安があるから止める」「早く決めなければ進まない」の二択にしないこと。2027 年春までに、共同生活の条件を言語化して判断材料をそろえる、という使い方が二人には合います。

TIMING / 2027-2029

2027 年後半～2029 年：暮らし方を更新する時期

2027 年後半～2028 年前半

沙耶さんには「変化・再編」の流れが続き、圭介さんには水星・金星への土星の調和が続きます。つまり、一方は新しい暮らし方へ更新したくなり、もう一方はルール・責任を具体化しやすい時期。新居、生活動線、家計、役割分担などを「試しながら改良する」運用と相性が良い期間です。

2028 年春

責任と生活設計の節目

二人とも土星の強いテーマが重なります。沙耶さんは自分の枠組みを点検し、圭介さんは感情・責任・自己の見せ方を現実的に整える流れ。結婚後であれば「一度決めた役割をそのまま固定せず、負担が偏っていないか見直す」ことが重要です。

2029 年

沙耶さんには感情・価値観を深く見直す長い流れが始まり、同時に「理想と現実の境界」が曖昧になりやすい時期が重なります。圭介さん側では社会面・生活方向の変化が強まりやすい。ここでは、想像で相手の意図を埋めず、実際の予定・負担・希望を言葉に戻すことが大切です。

Timing のピーク日時は天文学的・暦法上の計算点であり、特定の出来事が起こる日としては扱っていません。

TIMING / 2030-2031

2030年～2031年：固定するものと、更新するものを分ける

2030年

沙耶さんには価値・感情を深く再編する流れと、責任構造を作り直す流れが同時にあります。圭介さんにも生活の枠組みを安定させる動きが出ます。二人の生活が続いている場合、家計・住居・仕事・家庭内役割を「次の段階」に合わせて作り替えるタイミングとして使いやすい時期です。

2031年前半

土星の調和が沙耶さんの月・金星、圭介さんのASCへ重なるため、気持ちと責任を同じ方向にまとめやすい流れがあります。ここまでに積み上げたルールを、無理なく定着させる方向です。

2031年後半

一方で、沙耶さんには水星への土星の緊張、圭介さんには水星・金星への天王星の変化が入り、話し方・判断・価値基準を更新する必要が出やすい時期です。「昔決めたから」で固定せず、二人の現状に合わせてルールを変える柔軟性が重要です。

5年間を通したテーマ

この二人の安定は、「最初に完璧なルールを決めること」ではなく、生活の変化に合わせてルールを更新できることにあります。

結婚前に必要なのは、完成した答えより「二人で修正する仕組み」です。

FINAL ANSWERS

最初の5つの問いに、改めて答えます

1. 結婚が具体化した途端に不安が強くなるのは？

気持ちが弱いから、と単純には読みません。二人には感情・好意の自然な接続がある一方、曖昧さ・理想と現実・責任場面の圧力が強く出やすい構造があります。共同生活が現実になったことで、恋人時代に流せた違いが可視化されたと読むのが自然です。

2. 衝突しやすい点と補える点は？

衝突しやすいのは、決断速度、日常の基準、役割分担、自由時間、理想と現実のズレ。補えるのは、圭介さんの推進力と沙耶さんの点検力です。感情の土台は比較的つながりやすく、ルール化できればチームとして機能しやすい二人です。

3. 結婚前に何を確認する？

最優先は、お金・家事・決断プロセス・一人時間。その次に仕事、親族、衝突時の中断と再開、定期的な見直しです。「普通はこう」ではなく、二人の世帯として具体的な基準を決めてください。

4. 話し合い方は？

結論と条件を分けること。「結婚したい／したくない」だけで聞かず、「進めるために何を決める必要があるか」を1テーマずつ話す。沙耶さんは確認項目を絞り、圭介さんは期限と同時に検討時間も渡す。この形が噛み合いやすいです。

5. 今後5年で何を優先する？

最優先は「修正できる生活ルール」を作ることです。2026～27年は条件整理、2027～28年は暮らしの設計、2028年は役割の見直し、2029～30年は価値観と期待の再確認、2030～31年は定着と更新がテーマになりやすい流れです。

鑑定の要点

最終まとめ

鑑定の要点

この二人の問題は「違いがあること」ではなく、違いを処理する共通ルールがまだないことです。

気持ちの相性には支えがあります。だからこそ、結婚前に見るべきなのは「好きかどうか」だけではありません。お金・家事・決断・自由・修復の方法を、二人が実際に運用できる形にすることです。

沙耶さんへ

違和感を無視して進む必要はありません。ただし、違和感をそのまま「結婚への NO」に変える必要もありません。何が未確定だから不安なのかを分解してください。今回の鑑定では、その不安はかなり「条件化できる種類」です。

二人へ

一度の話し合いで完全な答えを出すより、「合意できたこと」「保留すること」「見直す日」を分けてください。この二人は、違いをなくすより、違いを管理できる仕組みを持った方が強い関係になります。

最初の一步

今週、60 分だけ時間を取り、家計・家事・決め方・一人時間の 4 項目について、各自が「譲れない 1 つ」と「任せられる 1 つ」を書いて持ち寄る。

それだけで、今の不安はかなり具体的な話し合いへ変わります。

今回の算出根拠一覧

顧客向け本文の結論に使用した主要な計算済みポイントです。

西洋占星術：主要シナストリー

関係	実オーブ	本文での扱い
沙耶さんの月 - 圭介さんの太陽 / セクスタイル	2.20°	感情リズムと相手の主体性の協力・受容
沙耶さんの金星 - 圭介さんの太陽 / トライン	1.86°	価値・親和と相手の自己表現の自然な調和
沙耶さんの月 - 圭介さんの海王星 / スクエア	0.10°	安心感に曖昧さ・理想化が入りやすい
沙耶さんの金星 - 圭介さんの海王星 / スクエア	0.23°	価値・愛情の理想と現実を確認する必要
沙耶さんの火星 - 圭介さんの木星 / オポジション	2.71°	行動速度・拡張の押し引き
沙耶さんの木星 - 圭介さんの太陽 / スクエア	0.26°	見通し・拡張と自己方向の差

角度・生活領域

- 双方の出生時刻は確認済みで、角度・ハウス領域を利用可能。
- 土星が互いのASC軸へ強く関わり、長期関係で責任・境界・圧力の扱いが重要。
- 双方の6ハウス領域に相手側の複数要素が入り、日常・習慣・仕事分担・生活運用が関係の主要テーマ。
- 沙耶さん側の火星・冥王星が圭介さん側の4ハウス領域に入り、家庭基盤・生活拠点を強く動かしやすい。
- 圭介さん側の海王星が沙耶さん側の7ハウス領域に入り、パートナー像の理想・曖昧さを具体化する必要。

四柱推命・Timing・使用範囲

四柱推命：二者関係

算出項目	計算済み結果	本文での扱い
日主	沙耶さん：壬 / 圭介さん：戊	圭介さん側が沙耶さん側を制する五行方向。同極性。
沙耶さんから圭介さんを見る十神	圭介さんの日干：偏官（七殺）	決断・外圧・統制の文脈。人物の善悪判定には使用しない。
圭介さんから沙耶さんを見る十神	沙耶さんの日干：偏財	方向性の補助情報として保持。単一ラベルで人物評価しない。
地支の確定関係	戌-辰の冲、亥-巳の冲、未-子の害、辰の自刑構造	違い・変化・見えにくいズレ・調整が必要な領域として使用。

5年間のTiming

対象期間：2026年9月24日～2031年9月24日。西洋占星術の Natal×Transit と、四柱推命の大運・流年の計算済み結果のみを使用しました。ピーク日時は出来事の確定日としては扱わず、テーマが前面化する期間として本文へ翻訳しています。

姓名判断・MBTI の扱い

- 姓名判断は、今回の計算結果で二者直接相性法が未採用のため、二人の相性結論を作る直接根拠には使用していません。
- MBTI は本人申告の INFJ-T / ESTJ-A を、思考・会話・意思決定の日常場面を理解しやすくする補助としてのみ使用しています。
- 占術の計算事実はローカル計算結果を使用し、この鑑定書側で惑星位置・四柱・相性・Timing の再計算は行っていない。

鑑定の読み方

この鑑定書は、二人の結婚可否を代わりに決めるものではありません。

「どこが自然に噛み合い、どこを具体的に調整すれば共同生活を作りやすいか」を、計算済みの関係構造から整理したものです。最終的な選択は、お二人の合意と現実条件をもとに決めてください。